夕刊
磐城新聞
十月十二日發行
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）

『短歌私鈔』に現れたる愚庵研究（其六）

島田忠夫

（承前）

尚歎首ぬく。

白雲の夕居る山のその巖の苔むすしたに我は棲まむぞ

青桐のみどりすゞしき閼伽のみづ親のみためと弱な朝な汲む

我庵の苔の細道誰待つとなつめは落ちし玉敷がごと

御佛に手向くる菊を白妙の衣の使待つと思ふな

○

愚庵は、鳥獸の歌を詠んでゐる。その時には如何にも涙もろくなつて居て前の歌などと比して別人の作品の感があるのがある。父母を憶ふ心が迫つて來て、涙もろくなるのであらう。その爲めに歌は割合に下手である。又純抒情の歌になると、才氣が勝ち過ぎたり、主觀が輪廓ばかりで透徹しなかつたりして終つて居るのが多いやうである。愚庵の歌は未だ未だ進歩する餘地のあつた事を暗示してゐる。

雉子なく小松が下の稚草は人な摘みそね雛の食むがに

命全く長く垂らさまく天地に祈れもろもろ摩訶般若波羅蜜

この蘭の香を聞く時はうつそ身のこの世に逢へりと我思はなくに

靈屋には魂はまさめどその人の目にし見ねねば悲しかりけり

あだし野の露と消えて珠數の緒の玉のかな玉も今更に空しき人と我思はなくに

八重櫻咲きたる山に今日もかも來鳴きとよもすひえ鳥の聲

花曇り春の日永をひえ鳥の聲きく時は眠くもあらず

久方の雨は降るともよしゑやし笠着て行かん梅の花見に

旋頭歌

近江の海竹生島には佛住みたり我ゆくや翌の今宵を月も滑みたり

たくつぬの白髭の浦ぞ月見よろしき佛ます竹生島根は猶ぞよろしき

いさな鳥近江の海は誰が寶ぞも久方の月夜に見れば黄金滿ちたり

○

桃山に於ける愚庵の晩年は、多くは病身であつた。たゞ若い時、相識つた人々が大概出世して居たし、又京阪地方の紳士は云ふ迄もなく、方々の國々に散在してゐる裁判官辯護士學者醫者富農豪商なども知己になつて居た。それらの人々に厚い世話になつたらしいが遁世の心は飽くまでも貫徹して、貧寒幽寂の生活を遂げて居た。滴水和尚を助けて天龍寺本堂再建の業を成さしめた。

陸實氏は『滴水は僧侶の修業に於ては鐵眼を小僧同様に思つて居つたらうが、然し、俗事の相談に就いては先づ鐵眼より外になかつたのだ』と云つてゐる。

○

左手の手首にまけば音のさらさら

百あまり八つの障を玉に貫きて手ならす我に障りあらめやも

にはたづみ麻手小衾踏みはぎて夜べの暑さに風ひきつ我は

世を捨てし我にはあれど病む時は猶ほ父母ぞ戀しかりける

若草の妻もあらねば門邊すむ嫗わがため今朝も炊ぎつ

我が爲めに炊がば炊げさざれ石よなけて炊げ齒に障るがに

天地にひとりの母を鳥邊野の今朝の烟と立てて來らしも

辭世

大和田に島もあらなくに梶緒絶えたゞよふ船の行方知らずも

（短歌私鈔）

時代警語

（蕪峰）

○簡易の生活は自力の生活也、自力の生活に非れば健全なる愉快は享受すべからず、乃ち如何に多くの他力を使用し得る人と雖も自力の生活を倣さざるべからざるは手から口に一日を暮らす勞働者と區別する處無きは蓋人生の通義のみ…………（日講壇）

銀座即興詩

平木二六

銀座のまちへ、のこのこと
ネクタイなしで出て行つた。
水平服の女の子
シボレー呼んで、飛び乗つた。
ネオンサインの赤と青
六度の眼鏡にしみるわい
ビイルでチイズもいいけれど
おでん熱燗、いきなもの
夜店で雛鳥買はされて
しまつにこまつて捨ててやつた。

消息

○加藤輝雄　御無音に打過ぎ候。御紙は島田忠夫氏より毎々頂戴致し、拜見致居候。愚庵研究記事は熱心に讀み居り候。小生立正大學の指令にて、松竹撮影班を引連れ、當地へ參り居候。日蓮上人遺跡を主題に六千尺餘をとり申候。けふは休養の爲、當下部溫泉にひたり、山峽の雨をきき居り候。（この映畫は不日上映さるべく候）甲州身延山麓下部溫泉にて、十月四日。

10月13日

△明治天皇東京遷都（明治元）△戊申詔書降る（同四一）△舊ロシア皇太后薨去（昭和三）△日蓮忌（御會式を執行す）△服部嵐雪歿す、蕉門十哲の一人、其句は蘊藉にして練達を以て稱せらる（寛永四）△佛敎渡來此日百濟より始めて佛敎及經論渡來す（欽明天皇十三年）

一日一禪

○
十年枕上塵中夢
半夜燈前物外心

俠艶 女長兵衛

講談　東京　斯波南叟
（魚崎潮畫）

（三八）

蝶『何うだ百姓衆の願ひだ、いつそ首を拔かうか』熊『然う云はねへで御勘辨を願ひます、是からは屹と改心致しますから』蝶『お百姓衆、熊五郎は改心して以來おまへ達に迷惑を掛けないと云つてゐる、今日は勘辨して遣るが好い、此後何かあつたら根岸の御行の松の直側の花井長兵衛、夫れが私だ、いつでも私の所へ飛んで來なさい、出てきて埒を明けて上げるからね』百『へエ有難うございます！』と云つたが百姓退散をしない面白がつてワア〳〵付いてくる、其處へ喜助がセツパ〳〵と飛付けて來る　喜『旦那樣、大變でございます』蝶『ハ、ア震え上つて小さくなつて居た樣だつたが、何うしたなにが大變だ』喜『お孃樣が居りません、此の野郎が煮て食つか、燒いてゞも食やアしませんか』熊『眞逆人間は燒きしても食へまいごうして居ないと判つた』喜『家の中に居た奴等は皆逃げ出してからツぽになりましたから、此奴好い按配だ此の隙間に早く連れて逃げ樣と存じまして、片ッ端から家探しをしましたが、下にも二階にも、押入戸棚の中にも水がめ釜糠味噌桶の中にも……』糠味噌桶に女を隱す氣支ない　蝶『是れ熊五郎、丸八の娘お露を何處へ隱して置いた』熊『えゝそれはその……家へ歸つてから申上げます』蝶『歸るには及ばん、娘を戻すと申したから勘辨する事になつた、居ないおつゆを何うして返す！』熊『えゝ夫れは屹とお戻し致します、外へ預けてございますから』蝶『外とは何れだ、其先を何故早く言はなかつた』熊『へゝ其先は山谷でげす、山谷の兄弟分瘤の留藏のところへ預けましたので』瘤の留藏といふ奴は、之れは女衒ではない男伊達で、その當時淺草切つての頭株右の頸下に三寸丸位の大きな瘤がある人呼んでコブの留藏と申します、併し男伊達と云つても虎の熊五郎などと、兄弟分になる位なやつだから、素性の好い男伊達では無い何しろ強い者勝ちの世の中町奉行八州の役人にも大岡越前守のやうな、大した人物が出て居れば、某引の内外必ず立派にた政治向きが行届くのでございませうが中々凡々の役人ばかりの中では、無理が通つて道理が引込むのも、致し方ない現象でございます、左許り幅を利かしてゐる留藏、夫れを引合に出したら、定めし長兵衛も二の足を踏むだらう萬一二の足を踏まずに留藏のとこへ乘込まうと云ふなら幸ひ、兄分に今日の始末を話して、長兵衛を酷い目に遭はしてやらう…熊五郞は全く心からの改心ではない、策略の改心だつたけれどもおテフの長兵衛には留藏の名も一向利き目がない　蝶『ハア然うか、ダガ變ではないか、何故に人に預けたりしたか』熊『夫りやア夫だけの譯がありやす、實ア留藏兄貴から五十兩と云ふ金が借りてあつて、其質に入つて居たのが丸八の證文、丸八から金が返らなけりやア、玉を渡すからと斯う云ふのでげしてね』蝶『玉とは何の事か判らない！』熊『玉とはわつち共の仲間で女郞なり藝妓になる女を言ふのでげす』蝶『夫では娘を女郞にでも賣る筈になつて居るな』熊『へエ金が戻らぬ以上、吉原へ賣るんでげして、夫迄の間兄弟分の方へ渡して置いたので……』聽て熊五郎の家へ近づく、其處が最初におテフが峰打ちを喰はした場所子分の一人が驚きの餘り氣を遠くして傍の庭木の根の所に倒れて居る、なに思ひけんおテフはツカ〳〵と寄つて、襟首を押へてグット引立てた、細細をもつてグル〳〵と後手に括して置いて手早くテフ『ヤツ』と活を容れる子『ウ、、、ム』テフ『ハ、アまだ死んで終はなかつたな、熊五郎是れはおまへの子分だらう』熊『へえ子分でげす、序に助けてお呉んなさい……』

ラヂオ

…十三日（火曜）…　仙臺JOHK

△前六、三〇A　ラヂオ體操
△七、五〇A　日蓮聖人六百五十遠忌第一次法要狀況（池上本門寺より中繼）
△九、〇〇A　氣象通報
△九、一〇　料理獻立（栗と蕪菁のホワイトソース煮）佐藤つぎ發表　日用品値段
△一〇、三〇A　家庭講座（滿洲事變と犧牲者）山田わか
△正午A　時報
△後〇、〇五A　琵琶（伊賀の曙）高野旭嵐
△〇、四〇A　全國ニュース　河北新報社ニュース　氣象通報　告知事項
△二、二〇　六、〇〇　運動競技（秋季六大學野球リーグ戰試合狀況）豫備日
△二、三〇A　經濟市況
△三、四〇　氣象通報
△三、五〇　經濟市況
△四、〇〇　ニュース
△四、一〇　六、〇〇B　角力中繼（關西大角力狀況）大阪角力場より中繼
△五、三〇A　經濟市況
△五、四五　今晩の番組豫告
△六、〇〇（子供の時間）童話（幼兒への自然噺）上澤謙二
△六、三〇A　英語講座（中等科）勝俣銓吉郎
△七、〇〇A　ニュース　氣象通報　告知事項　番組豫告　生繭相場
△七、三〇A　講演（國民と保健）內務大臣安達謙藏
△八、〇〇　義太夫（壺坂靈驗記…澤市內の段）竹本伊達子、三味線…野澤粂造
△八、四〇A　小唄（一、もみぢ　二、小諸出て　三、水のではな　四、よひのくせつ　五、くひな　六、ほのぼの）小唄…幸兵衛　三味線…幸美葉、幸子
△九、〇〇A　連續講談（いわしや政談伊勢の初旅）神田伯龍
△九、四〇A　時報　ニユース　氣象通報　番組豫告　生繭相場

かまぼこの御用は藤寅へ……
儀式用折詰仕出し
御惣菜用
◇配達迅速◇
さつま揚　吉原揚
平町一丁目　藤寅　電話一四一番

夜間診療
胃腸　內科　十二指腸虫病　專門　內科部
梅毒　淋病　皮膚病　婦人病　專門　外科部
松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

池坊龍生派
石城郡華道　龍生會本會創立
平町華道敎授正木旭松女史ガ最モ熱心ナル門弟一同ト一致協力シ斯道發展ノ爲メ石城郡龍生會ト稱スル一團体ヲ創設シ近日發會式ヲ擧行ス
相互ノ親睦ト意志ノ交換ヲ目的トシテ細心精密ニ立華生花ヲ研究可致ニ付多數御希望者ノ御入會ヲ歡迎ス

貸家案內
住心地良い新築貸家。
眺めの好い長橋新川端。
家賃は左記の所へ御相談下さい。
平町鍛治町　草野質店

高久病院
平町田町（電話五一三番）
內科　小兒科　外科　花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄

開業
耳鼻、咽喉科、氣管、食道科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
增田耳鼻咽喉科醫院
電話四八二番
（入院隨意）

セダン揃ひで！
貸切專門の！
昭和タクシーへ
三四三番

耳、鼻、咽喉科　氣管食道科　專門
平町南町（電一七〇番）
大和田醫院
大和田郡司
（自炊の便あり）

めそ丼　金參拾錢
大衆向うな丼　金參拾五錢
特上丼　金五拾錢
蒲燒（一人前）　金五十錢
右弊店特々の勉强振り御試食の程を御願申上升
江戸川うなぎ　食堂
平舘前通り　電話六七七番

度量衡計量器
吸入用酸素吸入器
關內藥局

內科　外科　花柳病
內臟外科　外科一般　花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齋外科醫院
看護婦募集

一額半價市　安賣
舶來生地メニスカス近眼玉　一組　一圓拾錢
優等品白生地栗山近眼玉　一組　六十錢
新メニスカス玉スドーシ　イロ　イロ　白　色　各一組　四十錢
イロメガネ
五令番と廿五番セル卷　三十五錢ヨリ
クローム製淵　三十錢
理想のメガネ正十八金セル卷　玉入　八圓四十錢
大形紺天張眼鏡入サック　十二錢
平町
精幸堂時計店
才槌小路キクチ自動車店の向

內臟外科一般
外科花柳病科
（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

月曜論壇

不了簡な校長

平常殆ど何等の交渉を有たぬ許りか例へば本社主催の少年庭球大會の案內勸誘等に對する參加不參加の回答すら舉手投足の勞を吝む一部小學校當局が昨今の運動會季節に慍面もなく優勝メダルの寄贈方を申込んで來るのは運動奬勵の美名に隱れ、より多く之を掻き集めんとするもので敎育者の態度として大に考慮を要する問題であると思ふ。賞を懸けざれば跳躍を逡ふ樣な不純な運動なれば斷然廢めるがよし。謄寫版刷りの書面などでメダル寄贈方の申込みに接する時、新聞社では其間云ひ知れぬ不愉快を感ずる

政友派の生氣

石城郡の政友部會が曩に縣會議員選舉直後平町に於て同志三縣議の當選祝賀會を開いて以來、內鄉に好間に同樣の催しをした事は從來餘りに隱健と云はんより寧ろ無氣力に近かつた政友會の傳統から飜然脫出し潑溂たる新天地を建設する前提として大に黨將來の躍進を祝福せざるを得ない、君子は豹變す、處女の如かりし從來の信條が或る意味に於て慓悍な民政黨と對峙して些か近代的で無かつた事に感づいた時須らく最近のアクティブを把持して進むなれば石城政友會の黨勢擴張期して待つべきものがある

賣買上非公開

秘密を殆ど生命とする外交に於てすら機宜を慫つた秘密が囂々と批難される今日たかが煙草の賣上げを公開せぬ事になつた平出張所(以前の元賣捌所)の態度こそ笑止千萬である。その賣り上げを公開する事によつて果して如何なる弊害を生ずるか蓋し其の解釋に困まざるを得ない。聞くが如くんば東北の某地では官營に制度改正後著しい賣上の減少を來たしたとの事である平出張所の賣上非公開は幸にして上司の嚴達等によるもので其種の蟠れる事情に原因せぬものであつて欲しいと思ふ

自慢に値する石城柿 約二十車を共同出荷 減收で價格は幾分騰る豫想

田人組合村の柿共同出荷打合會は十九日午前九時から同村小學校で開催するが之外郡下に於ては郡農會其他の指導により年々移出增加し今年は大野植田、田人、入遠野、上遠野、箕輪、渡邊、川部下小川八ヶ村約二十車の共同出荷を豫想されてゐる尚今年度の成績に就ては過般來郡農會で調査中であるが五月中の降雨と昨年大收穫を見た直後の年廻りになつてゐる爲例年より不良で生產も相當減少し今後幾分尻上りを呈すると見られてゐる

政友會好間支會 三縣議の祝賀を兼ね 昨日發會式を擧ぐ

好間村大平新吉、金成角治兩氏發起の政友派三縣議當選祝賀會は昨十一日午後四時から同村中村亭に於て開催したが出席三百餘名、大平新吉氏の開辭金成淺治氏の祝辭に次いで井上、赤坂(田子氏欠席)兩氏の謝辭及來賓木村代議士、鈴木縣支部幹事長の挨拶あり了つて政友會好間支會の發會式に移り左記役員を擧げて後開宴酣なる頃木村代議士の發聲にて萬歲三唱盛會裡に六時閉會した

會長大平新吉、副會長金成角治、叶多清、會計志賀長壽外一名、幹事長强口唯七郎、常任幹事大河原茂平外十五名、顧問金成淺治外一名

明年度事業として 南町裏新道起工 工費豫算二千八圓中 縣補助五百三十六圓

南町裏の下水に沿ふて設けられる新道は縣補助の關係から一時中止されてゐたが巾四米長さ三十米の區間を總工費二千八圓內縣補助五百七十六圓で七年度事業として着工される事となつた

スポーツの秋 縣下兒童ドッチボール 湯本(尋常)久の濱(高等)捷つ 昨日第一校庭の盛況

第五回縣下小學兒童ドッチボール大會は昨十一日午前十時より平第一校庭で開催された參加五校十一チームは我校長の開辭審判員の競技に關する注意あり高等科はAB尋常科はCDコートに於て
內鄉C對久の濱(A)內鄉B對平第一B(B)湯本尋常對平第一C(C)草野對平第一B(D)の組合せで號砲を合圖に一齊に競技を開始し各組とも夫々物凄い接戰を見せ左の戰績で尋常科久の濱對湯本高等科、平第一A對久の濱の決勝となり湯本尋常、久の濱高等が優勝午後二時閉會した

Aコート
內鄉C 2 7 — 17 12 久ノ濱
內鄉A 11 12 — 9 13 草野
久ノ濱 11 17 — 11 6 內鄉A

Bコート
內鄉B 11 9 — 14 16 平一校B
平一校A 15 15 — 11 10 平一校B

Cコート
湯本 13 20 — 4 0 平一校C
湯本 9 9 — 9 8 平一校A

Dコート
草野 13 11 — 17 15 平一校B
久ノ濱 14 16 — 15 6 平一校B

決勝Cコート(尋常科)
久ノ濱 9 3 — 5 15 湯本

決勝Bコート(高等科)
平一校A 10 9 — 11 17 久ノ濱

優勝校選手(湯本尋常)中山與太郎、堀竹雄、赤塚勝美、小林良藏、[illegible]
金成一郎、吉田與平、有田孝、飯高羲保、大泉金吉、淸水榮吉、吉田幹男梅田進一、加藤助治、菊地勇、太田渡、伊藤淸、柳田武夫、齋藤吉美、芳賀忠夫
(久ノ濱高等科)遠藤重平戶田勝美、渡邊忠雄、高木長八、谷平三男次、遠藤知、志賀弘司、白土博根本三郎、遠藤長吉、猪狩良一、榮花春次郎、坂本博、新妻梅雄、白土定一郎、若松山司、佐々木喜幸、樋田忠義、木田淸三郎、榮花美代治

[illegible]回戰の組合せは左の如し
(入山 磐中)(平商 鐵道)
尚決勝戰は十八日午前九時から同所で行ふと

炭礦陸上競技會 愈々二旬に迫る けふ各社代表が協議

第四回常磐炭礦聯合陸上競技會は愈々二旬の後に迫つたので各礦選手の練習に一段あぶらが乘つて來たが當日の競技が地方の運動競技中稀に見るの緊張した催しである丈け一層審判の嚴重を期せねばならぬので豫め其間の協議打合せを遂げて置く必要があり今十二日午後二時半から(磐炭)濱崎、小島、上田(入山)大越、薗川、上田(古河)安孫子、佐藤、(木社)蓮沼の各代表が磐中に於て橋本校長、齋藤敎頭、横井敎諭外運動關係職員と詳細な協議を遂げた

強豪四チーム 高月台上の爭霸 來十七日の野球試合

磐中、平商、入山炭礦、鐵道四チームの野球大會は十七日午後二時から磐中グラウンドに於て行はれるが一

平町新風景

黃金の波泳ぐ 秋晴れの谷川瀨田圃に イナゴ捕る女、女、女

黃金色に處ろ／＼青い色の雜つてゐる稻田の上を秋の雲の影が擂く樣に過ぎて、後から足の疾いお日樣が追つかけた。蜜蜂が蜜を啜る事を打ち忘れ、日光に醉つぱらつた果ては唯だもう嬉しそうに唸りまはつてゐる――今朝のやうな好いお天氣には誰も家にはゐるな。誰も稼ぎに出るな、いきなり紺一點の大空を翔び取つて宇宙の間を荒し廻り度いやうな氣がする、大空には河の面の泡沫のやうに笑ひ聲の漾ひ流れる。さ、今朝こそは歌をうたつて過しませう。

○ またタゴールの麗句を借用したんです、之れがまた妙に谷川瀨の田圃にも當て篏るんだから運筆沈吟の風景子も助かると云ふもんです。その秋晴れの谷川瀨たんぼに今日も澤山の蝗捕りが點々として黃金の波を泳いでゐるんです。

○ 見た處餘りにグロテスクな割合にうまくて其れでゐてビタミンのAだかBだかをふんだんに含んでゐると云ふ榮養食料品なんです。

まさか三段跳びの選手にもなれまいがコンの藥になると云ふんで珍重がられてるんです。

○ 白粉の剝げたナイト、ハンタ。山の神。奥さん。そうした色んな階級が袋やビール壜を持つては出かけるんです、中には下手な手內職よりは割が良いとあつて持ち辨當で遠く迄出掛けるのがあるんです。その日の米代は愚か宿六の晚酌代迄稼ぎ出すと云ふ豪勢なのもあるんです。

○ 今年はまた馬鹿に蝗が多く些か供給過剩の觀あるんで値だんも幾分安いから蝗すきには持つて來いの年なんです。倅のお辨當のおかづにチャンの晚酌の下物に當分事欠かせないイナゴなんです。

○ 秋晴れの谷川瀨田圃に黃金の波泳ぐ蝗捕りが今日もアッチ、ヽッチに見えるんです。白い雲が蒼い天を靜かに飯野の方へ飛んで行くんです。

ロロロロロ
商業生徒出仙 平商五年生五十八名は駒場中尉、服部敎諭に引率され軍事敎練の爲今十二日午前八時二十分仙臺工兵第二大隊へ出發した

時の恩人市川長作老 今朝竟に逝く 消防に奉仕四十餘年

平町に於ける『時』の恩人市川長作老は過般腦溢血で倒れて以來引續き療養中であつたが藥石効無く今十二日午前六時竟に長逝した。行年七十歲消防組に在る事四十年一般から其死を悼まれてゐる

平女子青年團主催 敬老會 昨日第二校で開催

平女子青年團主催の敬老會は昨十一日午前十時より平第二校作法室に開催されたが來會者三十四名、三曲合奏、兒童二、三年生の遊戲中島湖舟氏の手品其他の餘興あり團員手料理の午餐に舌鼓をうち午後一時座蒲團菓子折の記念品を受け用意の自動車で夫々送り屆けられた

映畫脚本入選 磐炭勞務課の山田轍郎氏

磐城炭礦勞務課員山田轍郎氏は日本礦山協會の災害防止衛生改善に關する映畫脚本の懸賞募集に應じた處見事入選し此程金一封を贈ら

○○○○○
大浦聯合運動會 大浦小學校、補習學校、同窓會、青年訓練所、男女青年團聯合秋季運動會は來二十六日校庭に於て開催すると

繪畫展覽會

磐中美術部X會第三十七回秋季展覽會は來十七日より三日間磐城訓盲院に於て美友會第十三回展覽會は同期間平町マルトモ三階に於て開催すると

遞信講習生 平局で募集開始

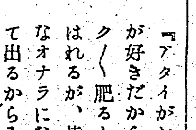
平郵便局の遞信講習生募集は一昨十日から開始したが願書締切は十五日で試驗は來月一、二兩日同局樓上で執行する豫定であると

石倉君入賞 磐中辯論部五年生石倉道明君は昨十一日の福島高商講演部主催關東東北六縣北海道中等學校辯論大會に於て三等に入賞したと

ロロロロロ
北部青年團總會 四倉、大浦、大野、草野を區域とする北部聯合男女青年團總會は昨十一日午前九時半より四倉町四倉座に於て開催作山紫山氏の講演及團員の七分間意見發表餘興の活動寫眞があつた、意見發表の成績左の如し
1片寄等(草野)、2根本三郎(大浦)、3木田義次(大野)、大間好男(大野)、4吉田嘉宣(草野)、阿部光市(四倉)、菊田淸(四倉)

磐中生演習 磐中五年生の野外演習は明後十四日好間村上の原附近に於て行ふ

○○○○○
入山弓道大會 入山炭礦の弓道大會は昨十一日午前九時から開催したが盛況であつた



艶罪黑白

◇薯俵をタオルに包んだような恰好で薯をむいてる×○(特に名を秘す?)は、それでも兵隊の『アクイがお薯が好きだからブク／＼肥るといはれるが、皆んなオナラになつて出るからそんなことは無いわね、家では皆んな好きだわ』と尻からブーッ◇夜間演習のような大小の發砲で夏でも蚊が居ないとはガスも蚊イブシの代りになると見へる、其くせ蚤は臭い處に集まるので代る／＼腰卷をめくつて蚤退治は色消しだぜ。

農事講演會 好間外三村で開催

好間外三ヶ村の農事講演會は左の日割で開催するが講師は郡農會橋本技手、米穀檢查所木名瀨所長である
十二日好間、十三日下小川、十四日飯野、十五日泉

ロロロロロ
市街地產組視察 平庶民金庫三浦永井書記小名濱長瀨組合長の三名は十四日須賀川、二本松、郡山、福島地方の市街地信用組合を視察の爲產業組合石城郡會から派遣される事となつた

ロロロロロ
玉糸及農事講習 夏井村農會主催の玉糸講習會は來十六日から一週間同村小學校で開催尙ほ十八日は午前九時から同所で農事講習會を開催するが講師は農事試驗場石城分場長稻田技師である、

ロロロロ
產組役員會 石城、双葉產業組合役員會は來十八日午前九時から平町各種團体事務所樓上で開催

○○○○○○
四倉清潔日 四倉警察署管內に於ける秋季清潔法日割左の如し
十四日久之濱、十六日大久、十八日草野、十九日大浦、二十二日大野、四倉町(未定)

四倉繭市況

四倉繭市場昨十一日の取引相場次の如し
總貫數千三百八十一貫、最高三圓二十六錢、最低二圓八十七錢、買馴三圓四錢

鯉釣大會 ◇好間七曲池で

平町大町木田鐵工場主等主催で十七、八、九の三日間好間村七曲池で鯉釣大會を催すが當日釣獲した二尺五寸以上の鯉を一尾だけ五圓で主催者が買取りそれを沼の內辨天に奉納同池に放つ

取立金橫領 興信所調べらる

湯本町上町常磐興信所主任立花善松(四二)は此程同町小松キヨの依賴を受け同町高橋隆雄より取り立てた二百圓の貸金を橫領費消した旨小松からの告訴に依り目下平署で取調べ中

女子事務員 潮來へ清遊 平局の慰安旅行

平郵便局では女子從業員慰勞の爲め六十名を交互に昨今兩日に分ち戶石局長引率の下に茨城縣潮來方面へ自動車旅行を試みた

平町人事

△出生 大工町一七湯本町三函二三五丹野玉磨二男和雄
▲死亡 田町四一東京市淺草區榮久町七八高崎シケ(四七)

神谷忠魂祭

神谷在鄕軍人分會主催の忠魂祭は來十七日午前十時から碑前で行ふと

早慶野球戰 勝敗豫想投票募集

スポーツ日本の最大痛快事たる早慶戰は來十七日十八日の目睫に迫りました。弊店は親愛なる我が野球フアン諸君の爲百パーセントの興味を唆るべく左記により勝敗の豫想を募ります。

一、用紙 官製ハガキ
一、書式 第一回戰 何校の勝 第二回戰 何校の勝 第三回戰(になりたる場合)優勝校名
一、宛名 平町田町 磐城新聞社
一、〆切 十月十六日一便配達迄
一、當選發表 決勝戰終了翌々日 磐城新聞紙上
一、賞品 一等、二等、三等、置時計、萬年筆、蓄音器レコード
正解者多數の場合は抽籤を以て定む

主催 大谷時計病院 平町三丁目(電十九番)
後援 磐城新聞社

內科、小兒科 花柳病科 入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町 電話平 五〇七番

內科、小兒科 外科一般、婦人科 皮膚科、梅毒、淋疾病
市原卯太郎 市原陸郎 市原三三男
市原醫院
平町田町本通 (入院隨意) 電話一一四番

吉田眼科病院

芳醇無比
白馬の雪
松本德一吟釀 平電話二八五

特賣
ヒコーキ材料 毛糸、ヌイ糸 小供自轉車 教育玩具、裝飾品、縫糸毛糸諸雜貨
問屋 森下商店 平町一丁目